

F SPORT PARTS(TRD)

MS341-48003/4/5

フロントスポイラー

取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)フロントスポイラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、
お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS341-48003-A1	杓付ノグ ガラスレク (083)	RX 200t F SPORT	AGL20/25	'15.10 ~	
MS341-48003-C0	ブラック (212)				
MS341-48003-C1	グレアイトブラックガラスレク (223)				
MS341-48004-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	RX 450h F SPORT	GYL20/25		
MS341-48005	共通品 (212)				

*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着を想定しておりません。
他社製品との同時装着の際は、あらかじめ確認を実施してください。

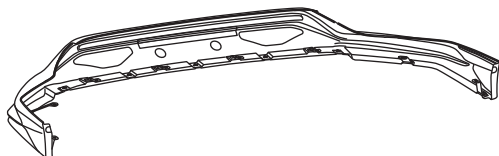
■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	フロントスポイラー		1	
②	Jナット		2	M5用
③	タッピングスクリュー		2	5×16
④	取付取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS341-48004-NP (未塗装品セット) のみに同梱

	部品名	品番	数量	備考
⑤	別ピース		1	
⑥	リベット		5	黒色

①



②



③

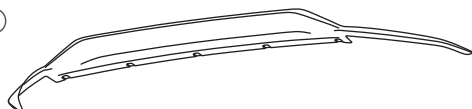


④



以下、MS341-48004-NP (未塗装品セット) のみに同梱

⑤






⑥



取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

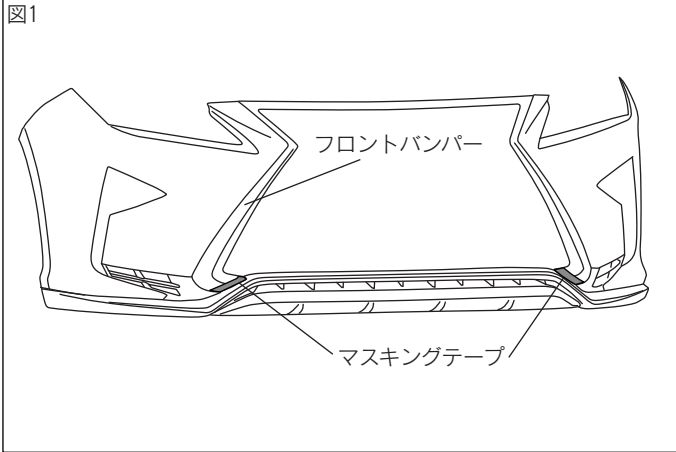
-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所での作業や、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、各タッピングスクリューが緩む恐れがあるので、数キロ走行後には必ず増締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けてください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット(MS341-48004-NP)は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。塗装後の乾燥時、乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両へのフロントスポイラーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。(3年または60,000Km走行時点のいずれか早い方で)

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

未塗装品 (MS341-48004-NP) は製品装着後、取付取扱い要領書7ページ以降を参照し別ピースを取付けてください。



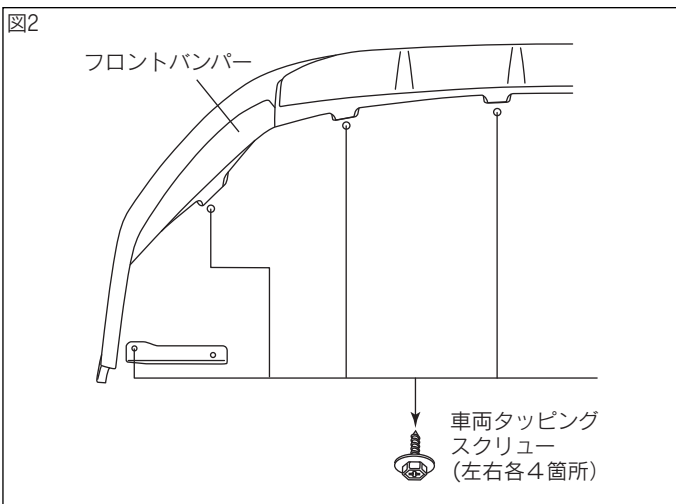
※本取付取扱い要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様に行ってください。

□取付準備

1. 図1のようにフロントバンパーのメッキ部品が傷付かないようにマスキングテープ等でマスキングする。

(左右各1箇所)

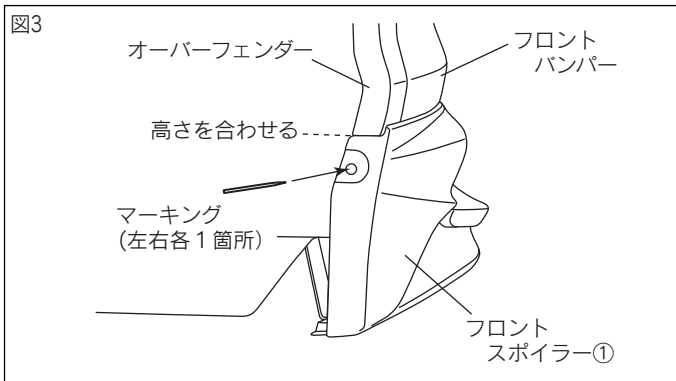
△注意：フロントスポイラー①の取付け後、マスキングテープを剥がしてください。



2. 図2のようにフロントバンパー下部を固定している車両タッピングスクリューを取外す。

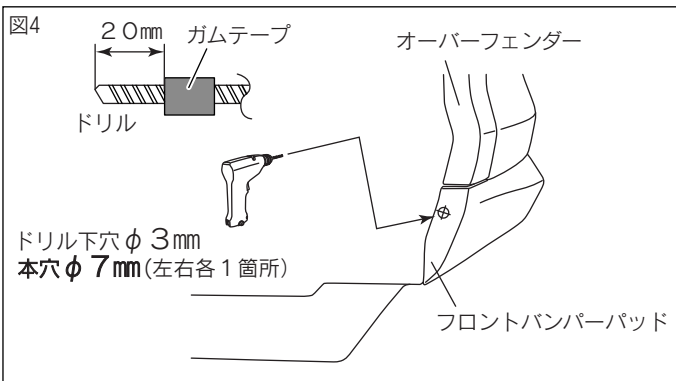
(左右各4箇所)

△注意：取外した車両タッピングスクリューは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。



3. 図3のようにフロントスポイラー①をフロントバンパーにかぶせ、オーバーフェンダーの端末とフロントスポイラー①の端末を合わせた高さ位置でホイールハウス部穴センターをマーキングして、フロントスポイラー①を取外す。

(左右各1箇所)



4. 図4のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ7mmの順にドリルを使用してフロントバンパーパッドのマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取除く。

(左右各1箇所)

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

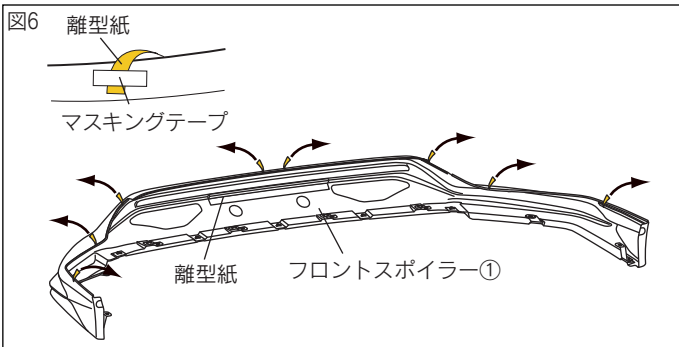
△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。



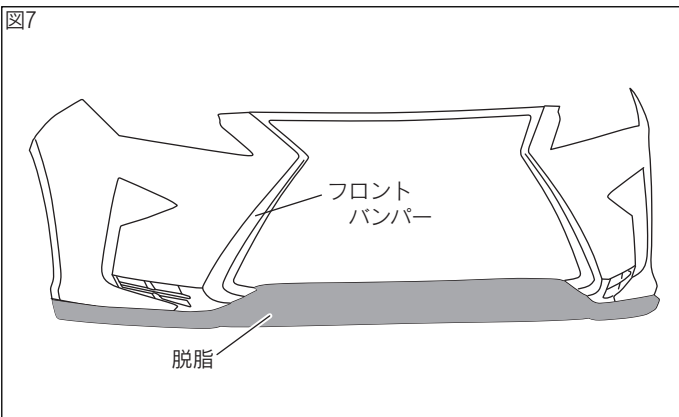
5. 図5のように穴をあけたホイールハウス部に、Jナット②を差込む。
(左右各1箇所)

⚠注意：Jナット②の差込む向きに注意してください。逆に取付けるとフロントスポイラー①が取付かなくなります。



6. 図6のようにフロントスポイラー①の両面テープの離型紙を、矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各4箇所)

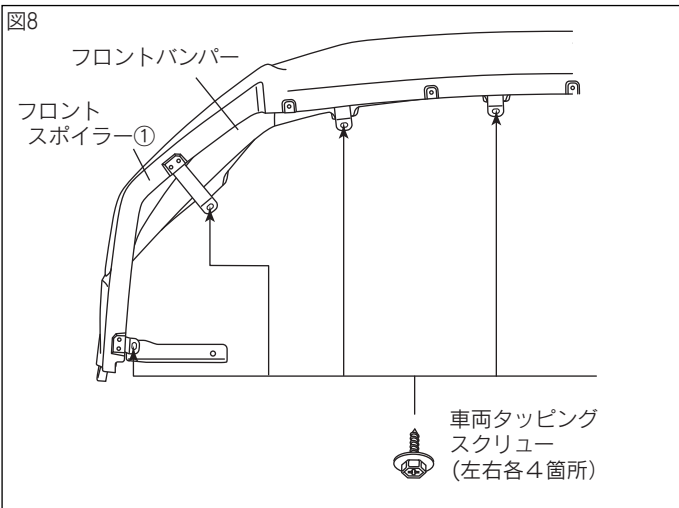
⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。



7. 図7のようにフロントバンパーのフロントスポイラー①取付け部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール (IPA) 又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。
(1箇所)

⚠警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください

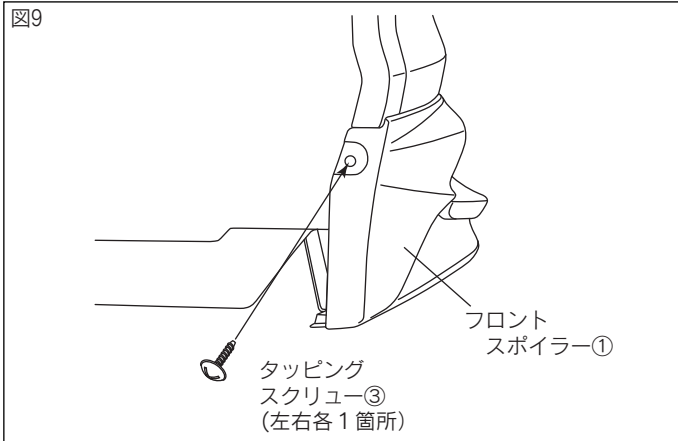
⚠注意：脱脂を行う際は上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。



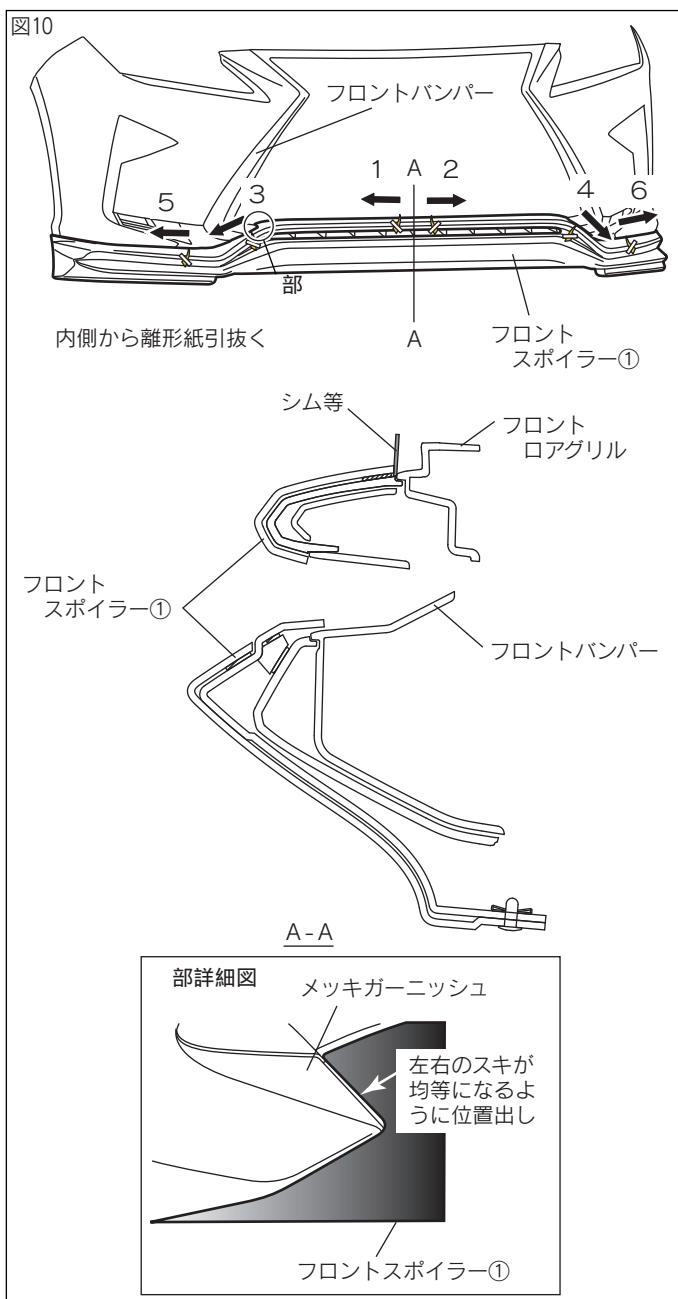
□取付要領

1. 図8のようにフロントバンパーにフロントスポイラー①を合わせ、下面を車両タッピングスクリューを仮締める。
(左右各4箇所)

⚠注意：すべての止め点が車両下側に来るように取付けてください。



2. 図9のようにホイールハウス部をタッピングスクリュー③で仮締めする。
(左右各1箇所)



3. 図10のα部のように、ロアグリル横メッキガーニッシュとフロントスポイラー①の左右のスキが均等になるように位置を出す。
(左右各1箇所)
4. 図10のように、フロントスポイラー①のセンターに厚さ1mmのシム等を挟み高さ位置を出し、両面テープの離型紙を図の番号順に剥がしながら貼付け、圧着する。
{ 49 N (5 k g f) 以上 }
(左右各3箇所)

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

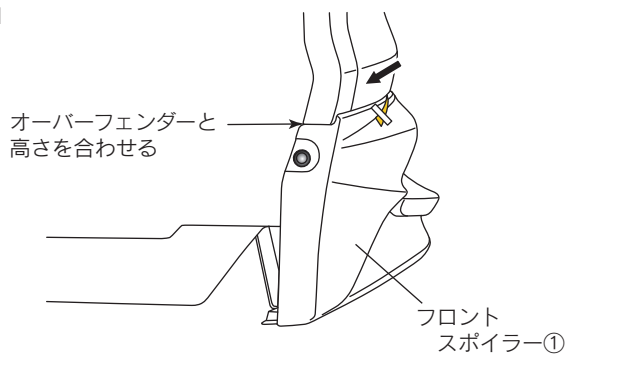
△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉アドバイス：厚さ1mmのシムをご用意してください。無い場合は、厚さ約1mmのワッシャー等で代用してください。

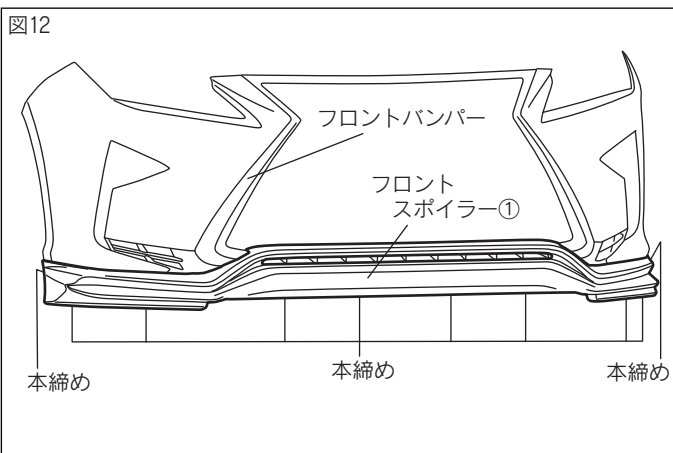
👉アドバイス：離型紙を剥がす際、フロントバンパーにフロントスポイラー①を押当てながら圧着してください。

図11



5. 図11のようにフロントスポイラー①のホイールハウス部の高さをオーバーフェンダーの高さに合わせ、両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け、圧着する。
 { 49N (5kgf) 以上 }
 (左右各1箇所)

図12



6. 図12のように下面部を仮締めしている車両タッピングスクリューを本締めする。
 (左右各4箇所)
7. 図12のようにホイールハウス部を仮締めしているタッピングスクリュー③を本締めする。
 (左右各1箇所)

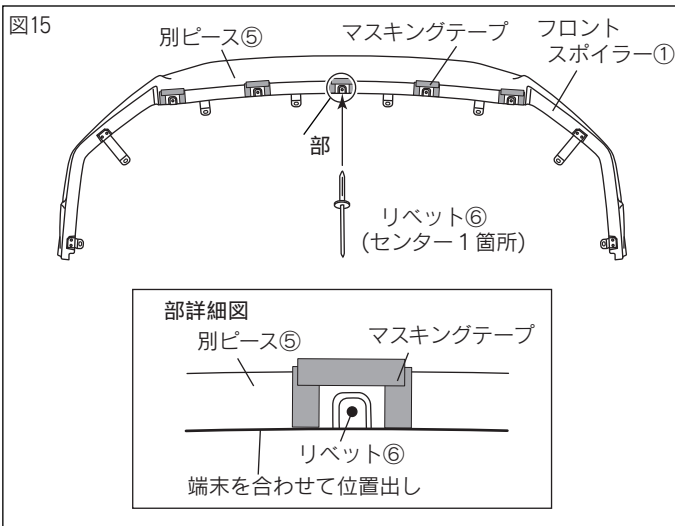
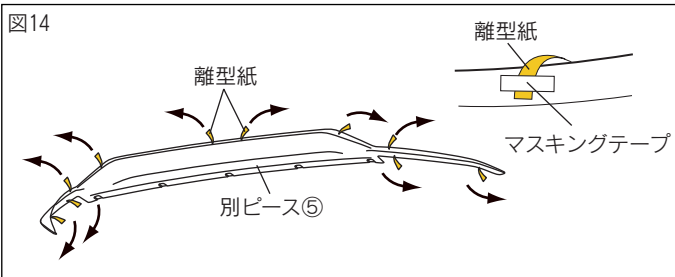
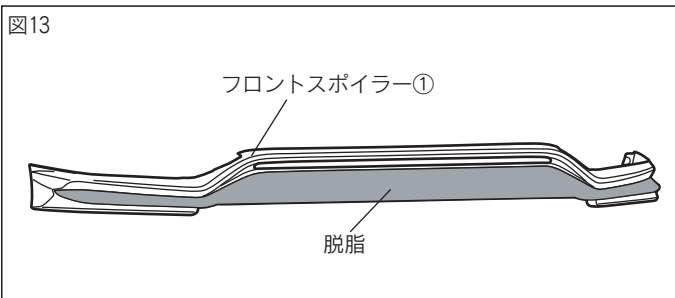
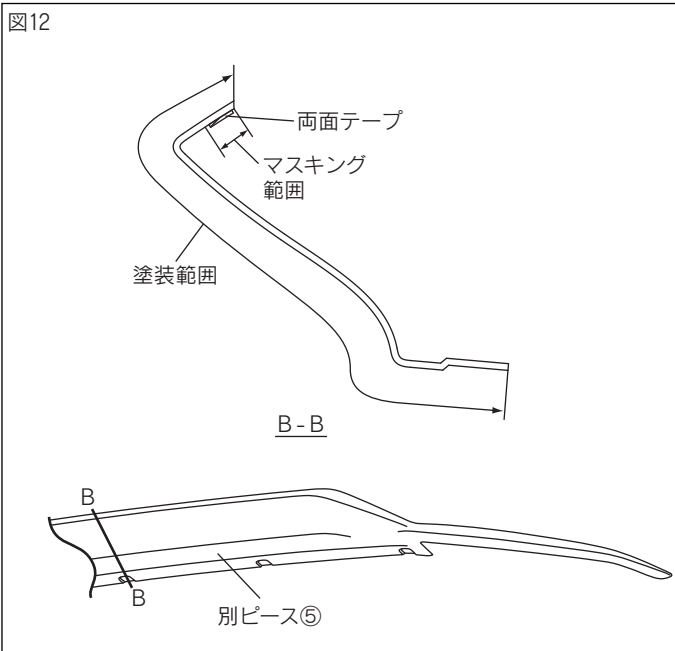
△注意：車両側面のタッピングスクリュー③を本締めする際、フロントバンパーに押当てながら、モールとフロントバンパーにスキがないことを確認してタッピングスクリュー③を本締めする。

■取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラーがタッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品の全周に渡り、浮き、浮き、剥がれの無い事を確認する。

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS341-48004-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様に行ってください。

□別ピースAの塗装

1. 図12のように別ピース⑤を車両色に塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：両面テープは、絶対に塗装しないでください。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

□別ピースの組付け

1. 図13のように別ピース⑤組付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向について脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、10分以上乾燥させてください。

2. 別ピース⑤の両面テープの離形紙を、図14のように中央から約30mm剥がし、マスキングテープ等で表面に貼付ける。
(左右各5箇所)

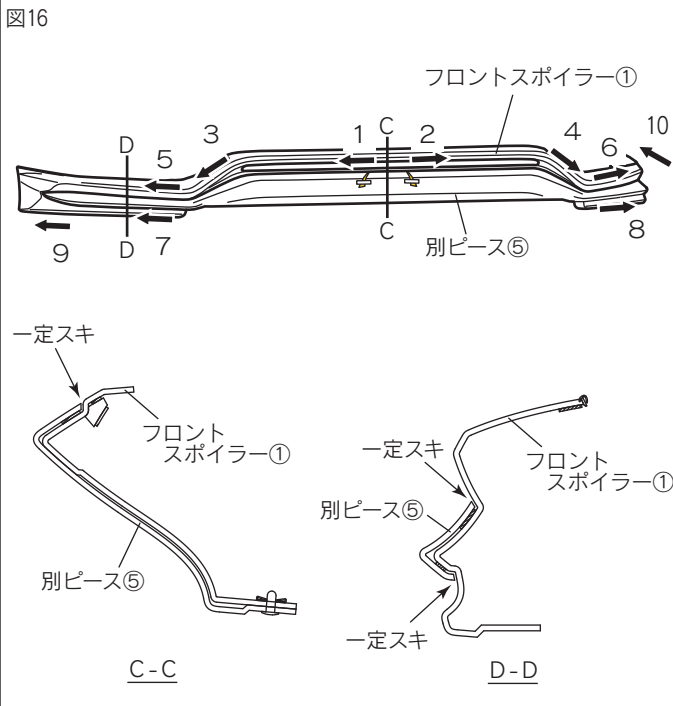
△注意：両面テープの離形紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。

3. 別ピース⑤をフロントスポイラー①にかぶせ、図15のようにリベット⑥取付け部周辺の別ピース⑤をマスキングテープ等でマスキングする。
(センター1箇所、左右各2箇所)

4. 図15のようにセンターをリベット⑥を取付け位置を出す。
(センター1箇所)

△注意：マスキングをせずにリベット⑥の取付けを行うと、フロントスポイラー①及び別ピース⑤を傷付ける可能性があります。

△注意：フロントスポイラー①に振れの無い状態で別ピース⑤の取付け、貼付けを行ってください。



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様になってください。

5. 図16のようにスポイラー本体①と別ピース⑤のスキが一定であることを確認し、別ピース⑤の両面テープの離型紙を図の順番に剥がして貼付け、圧着する。(左右各5箇所)
 {49N(5kgf)以上}

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

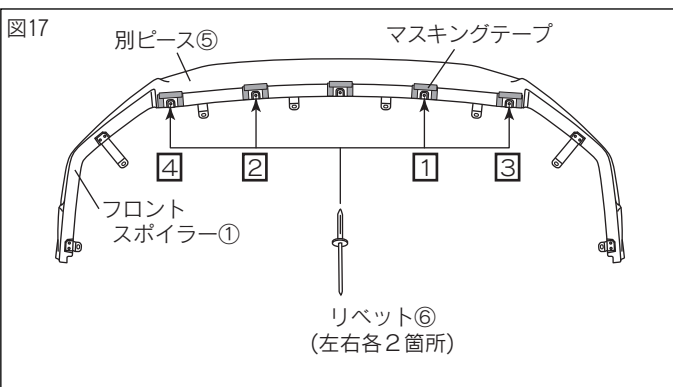
△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にして下さい。

△注意：両面テープの離型紙を図17で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△警告：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉アドバイス：離型紙を剥がす際、フロントスポイラー①に別ピース⑤を押し当てながら圧着して下さい。



6. 図17の順番でセンター以外のリベット⑥を取付ける。(左右各2箇所)

△注意：マスキングをせずにリベット⑥の取付けを行うと、フロントスポイラー①及び別ピース⑤を傷付ける可能性があります。

△注意：フロントスポイラー①に振れの無い状態で別ピース⑤の取付け、貼付けを行ってください。

7. マスキングを剥がす。

■取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラーがタッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。